

東リ株式会社

2022年3月期 決算説明会

2022年5月31日（伊丹本社／Zoomウェビナー開催）

2022年3月期 決算概要

当社グループを取り巻く事業環境	P.3
連結決算概要	P.4
製品分野別売上構成	P.5
製品分野別 連結売上高／営業利益率 推移	P.6
製品分野別トピックス	P.7
連結営業利益 増減要因	P.8
連結貸借対照表	P.9
連結キャッシュ・フロー計算書	P.10
主要指標推移	P.11
環境負荷低減目標	P.13

2023年3月期 業績見通し

連結業績見通し	P.15
製品分野別 連結売上高／営業利益率 見通し	P.16
投資計画	P.17
配当の状況(連結ベース)	P.18

中期経営計画「SHINKA Plus ONE」進捗

「SHINKA Plus ONE」概要	P.20
事業環境認識と対処すべき課題	P.21
「SHINKA Plus ONE」トピックス	P.22
今後の取り組みトピック	P.25

Appendix

会社概要	P.28
沿革	P.29
国内及び海外事業拠点	P.30
東リグループの事業体系	P.31
東リグループの特徴と強み	P.32
東リグループのESG経営	P.33



2022年3月期 決算概要



国内建設市場動向

建築着工統計	新築（面積） （前年比 ※1）	リフォーム リニューアル（金額） （前年比 ※2）
住宅	+0.2%	+21.9%
非住宅	△1.9%	+9.3%
事務所	△7.5%	+5.6%
店舗・宿泊施設	+11.1%	+11.8%
学校	△2.0%	△20.4%
医療・福祉施設	△11.2%	+6.3%

Point

- ▶ 年間を通して新築・リフォームともに好調に推移。
- ▶ 大都市圏で進行中の大型再開発案件は2023～24年度が納材のピーク。オフィスの入退去に伴うリニューアル工事は堅調。
- ▶ 店舗市場が底打ち、回復基調となるが、ホテル案件は引き続き低調。
- ▶ 新築・リニューアル共に大規模工事が低調で、大幅に減少。
- ▶ リニューアル工事は好調に推移、新築物件は年間を通して低調。

出典：国土交通省「建築着工統計調査」及び「建築物リフォーム・リニューアル調査」

※1 当社事業との連関指標として、住宅は7ヶ月、非住宅は9-12ヶ月後方ヘシフトさせた数値

※2 2021年4月～2021年12月累計の前年比

その他事業環境

原材料調達環境の変化

気候変動リスクの高まり

デジタル社会の進展

Point

- ▶ 原油・ナフサ価格の高騰や需給バランス、海上輸送事情などを起因とする原材料価格の上昇や調達リスクの発生。
- ▶ 事業活動を通じた環境負荷低減への取り組みに関する社会的要請の増大。
- ▶ 設計業務、工程管理等のデジタルツールの普及。各種提案・商品訴求のためのデジタルツールの浸透。

2022年3月期 連結決算概要

(百万円)

	2021年3月期		2022年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前期比	前年差
売上高	85,931	—	88,513	—	3.0%	2,582
売上総利益	24,488	28.5%	24,124	27.3%	▲1.5%	▲364
販売費及び一般管理費	22,893	26.6%	23,246	26.3%	1.5%	353
営業利益	1,595	1.9%	878	1.2%	▲45.0%	▲717
経常利益	2,026	2.4%	1,244	1.4%	▲38.6%	▲782
親会社株主に帰属する当期純利益	1,386	1.6%	720	1.0%	▲48.1%	▲666
総資産経常利益率 (ROA)	2.6%	—	1.6%	—	—	▲1.0ポイント
自己資本当期純利益率 (ROE)	3.8%	—	1.9%	—	—	▲1.9ポイント

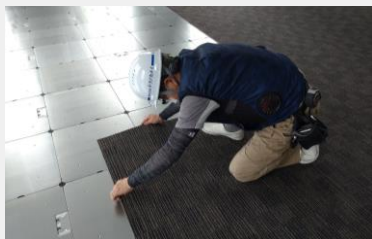
(※)前年比は「収益認識に関する会計基準」適用後の数値で比較しております。

Point

- コロナ禍からの緩やかな回復に伴う販売数量の増加および販売価格改定による売上高の増加。
- 原価関連コストの増加による売上総利益の減少。
- 販売数量増加に伴う物流費の上昇等による販管費の増加。
- 原材料価格の高騰を主因とするコストアップにより利益が大幅に減少し、ROA・ROEは低下。

東リグループの製品分野別売上構成

工事業

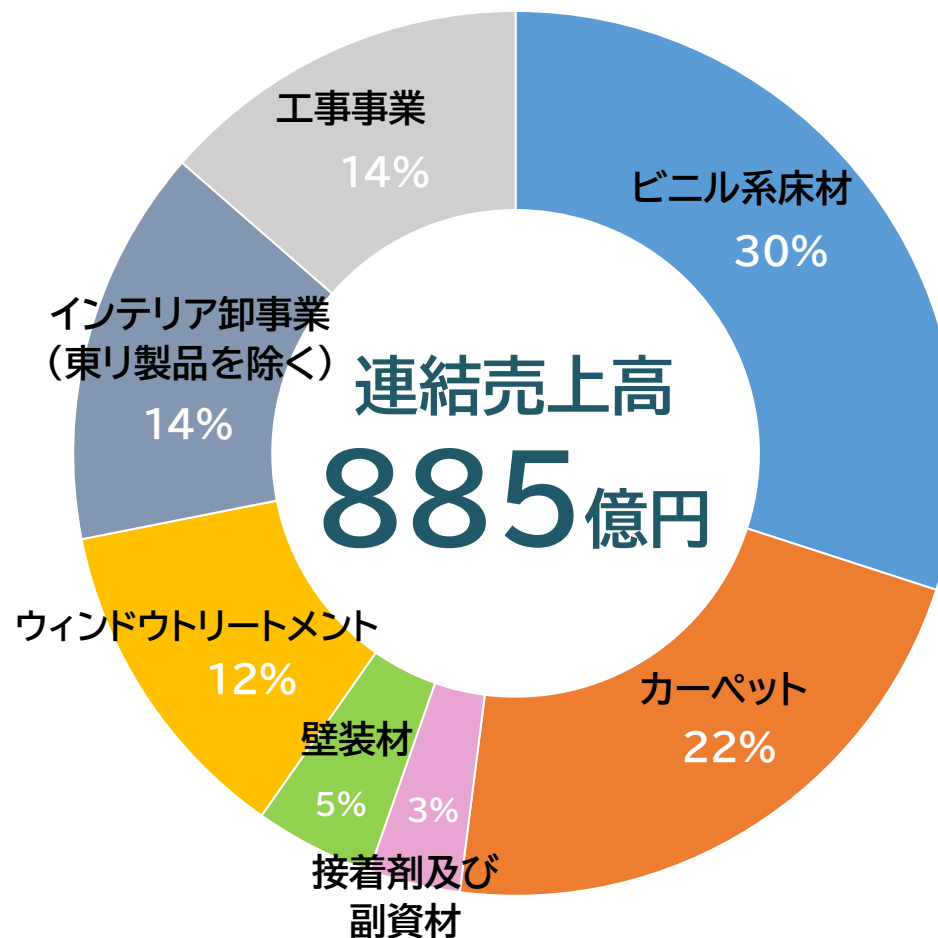


インテリア関連製品の施工等

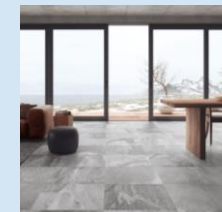
インテリア卸事業 (東リ製品を除く)



他社インテリア関連製品の仕入れ販売



ビニル系床材



ビニル床タイル



ビニル床シート

カーペット



タイルカーペット

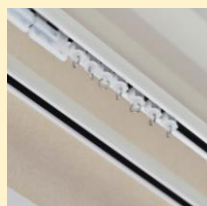


ロールカーペット

ウィンドウトリートメント



カーテン

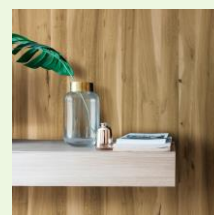


カーテンレール・ブラインド等(仕入商品)

壁装材



ビニル壁紙



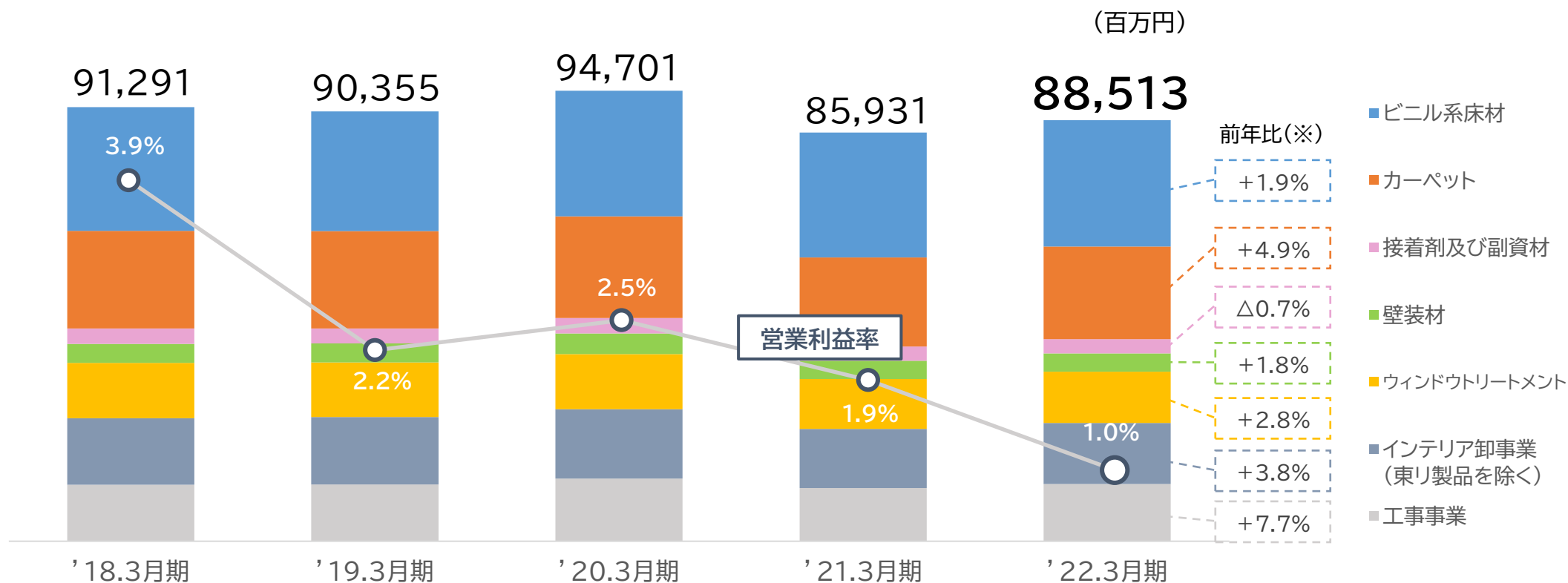
不燃化粧仕上げ材
リアルデコ

接着剤及び副資材



ビニル系床材用／カーペット用 接着剤

製品分野別 連結売上高／営業利益率 推移



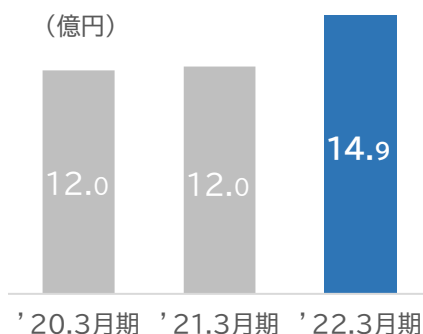
(※)前年比は「収益認識に関する会計基準」適用前の数値で比較しております。

Point

- ビニル系床材 : 店舗市場やオフィス市場においてビニル床タイルが堅調に推移し、全体の売上増加に貢献。
- カーペット : オフィスリニューアル市場への販売強化を図り、タイルカーペットを中心に前年より増加。
- 壁装材 : 回復基調にある住宅市場への採用が増え、前年より増加。
- ウィンドウトリートメント : 教育・医療福祉施設向け商品の需要が低調に推移したが、堅調な住宅市場を背景に前年より増加。
- 工事事業 : 大型物件は低調に推移したものの、中小規模物件を取り込み前年より増加。

ビニル系床材

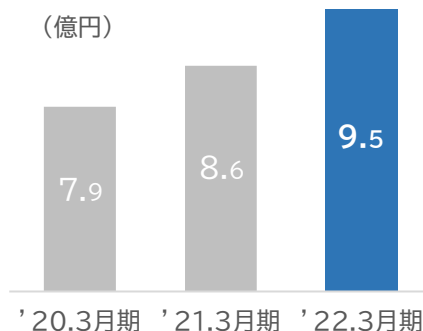
置き敷きビニル床タイル
『ルースレイタイル
LL50NW-EX』



オフィス空間に“美観”と
“新たなデザイン”を創造



トイレ用ビニル床シート
『消臭NSTワレNW』

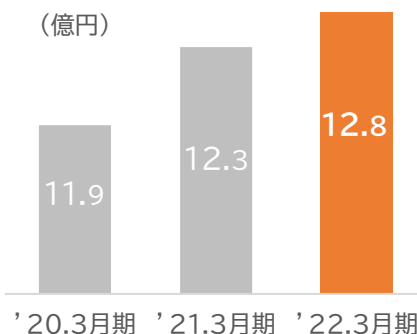


トイレを“より快適な空間”
へ進化させた

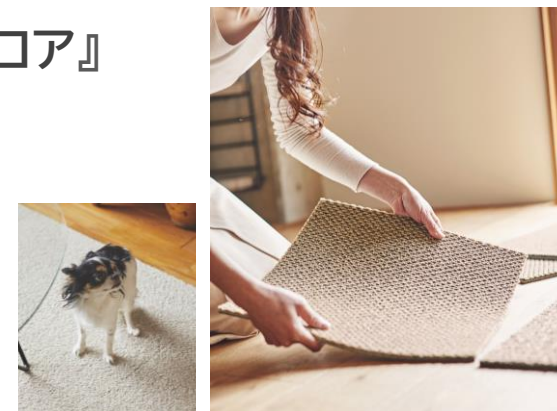


カーペット

住宅向けタイルカーペット
『東リ ファブリックフロア』

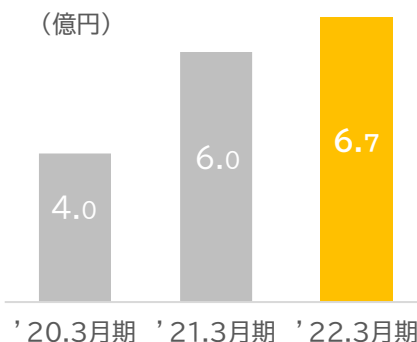


ペット対応機能の充実により
海外ECでも伸長



ウィンドウトリートメント

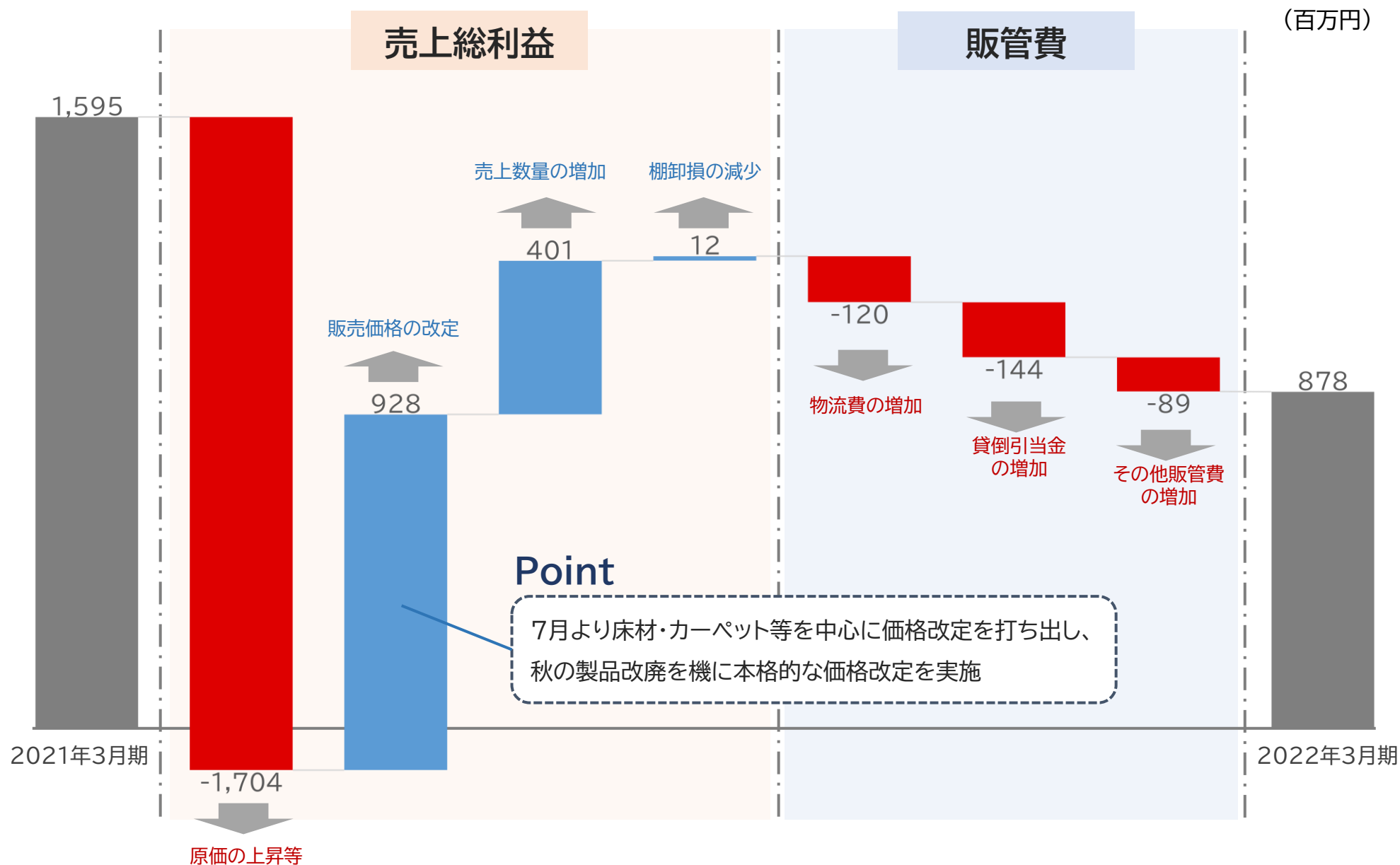
住宅向けカーテン『フフル』



“選ぶ楽しさ”を提供



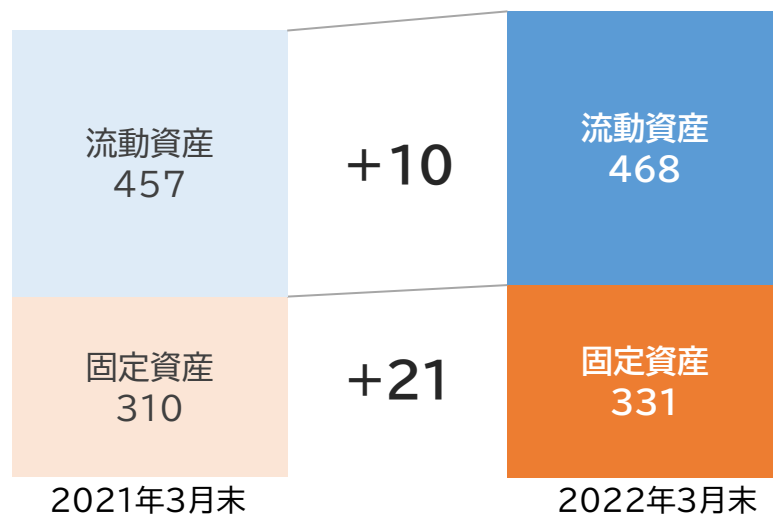
連結営業利益 増減要因



連結貸借対照表

資産

(億円)



Point

<流動資産>

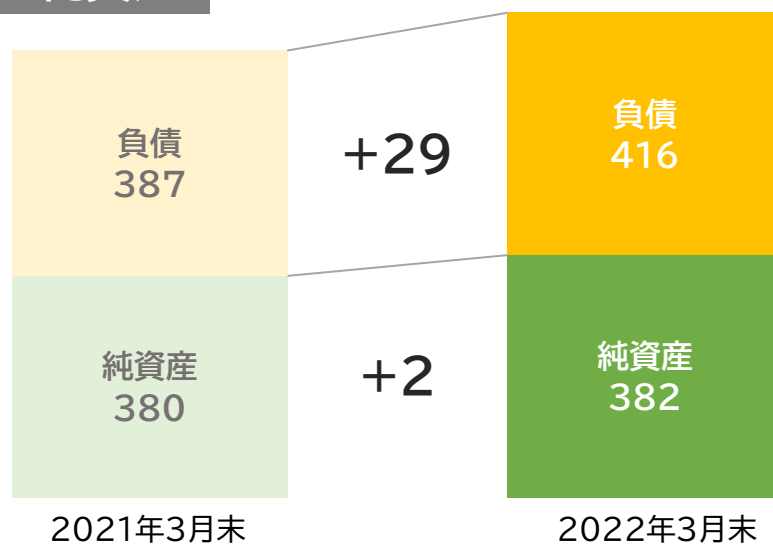
- 棚卸資産の増加 +7
ー主として原材料価格上昇に伴う原価上昇による

<固定資産>

- 有形固定資産の増加 +10
ー広化東リフロア(株)における新工場建設
ー滋賀東リ(株)における新ライン設備投資 等による
- 子会社への出資金 +11
ー江蘇長隆裝飾材料科技有限公司への追加出資による

負債／純資産

(億円)



Point

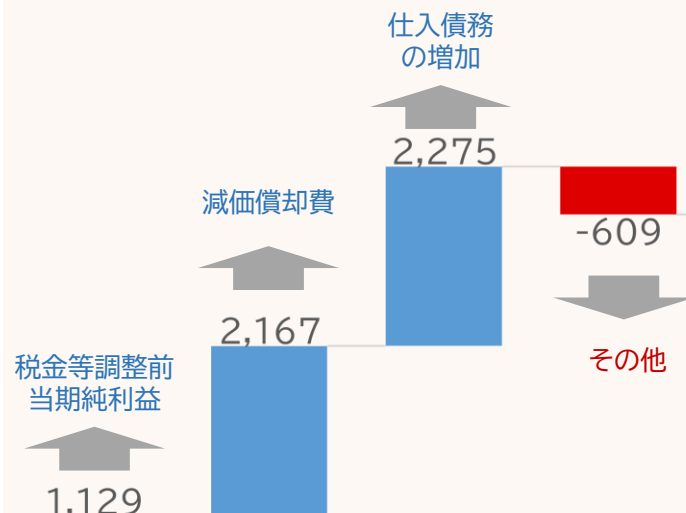
<負債>

- 仕入債務の増加 +22
ー主として原材料価格の上昇による
- 短期・長期借入金の増加 +0.75

連結キャッシュ・フロー計算書

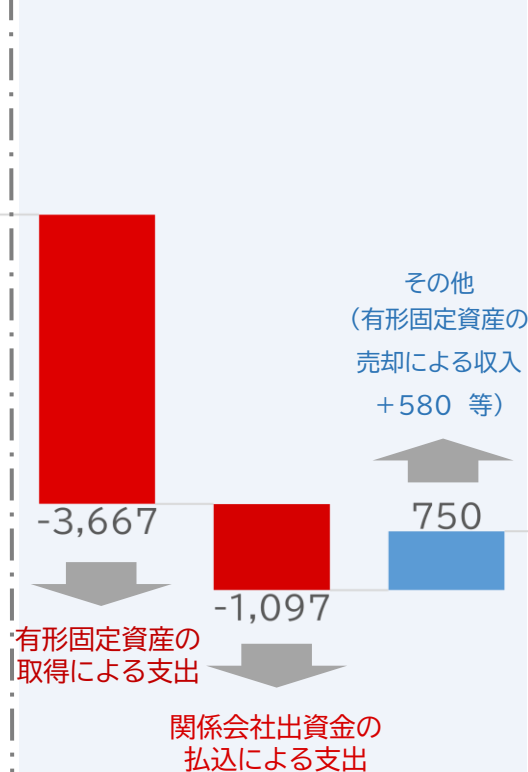
営業CF

+4,962



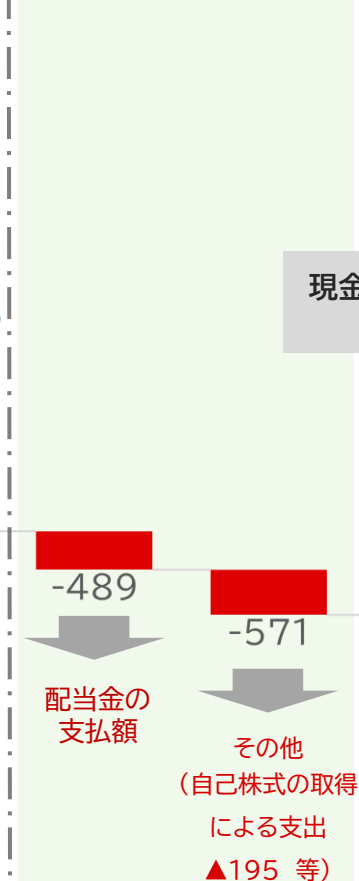
投資CF

▲4,016



財務CF

▲1,060



現金及び現金同等物の換算差額

▲78

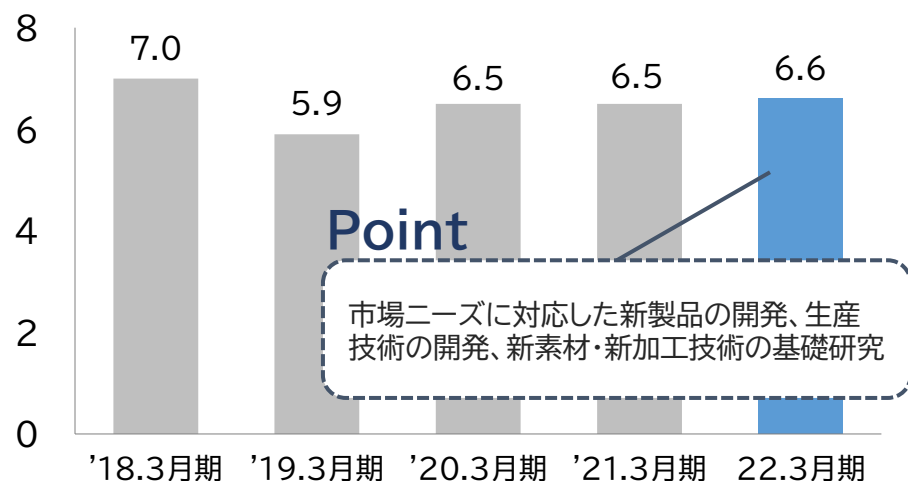
35 10,189

現金及び現金同等物の期末残高

主要指標推移(1)

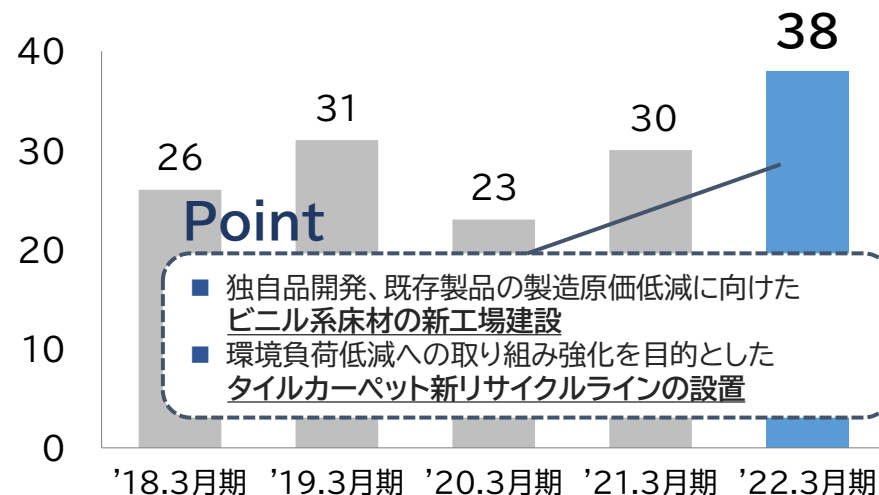
研究開発費

(億円)



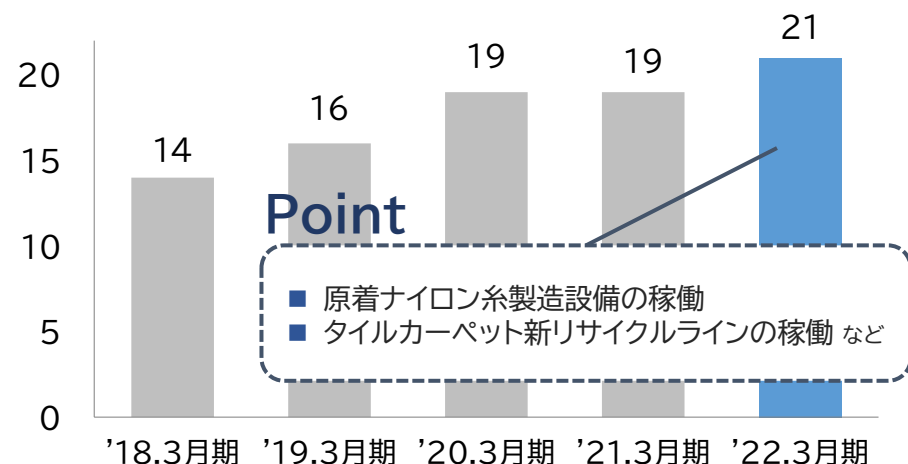
設備投資額

(億円)



減価償却費

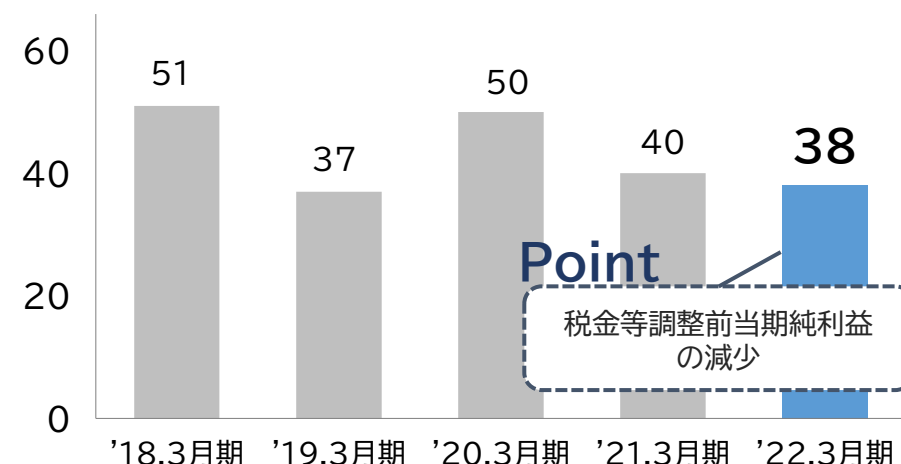
(億円)



※キャッシュ・フローベース

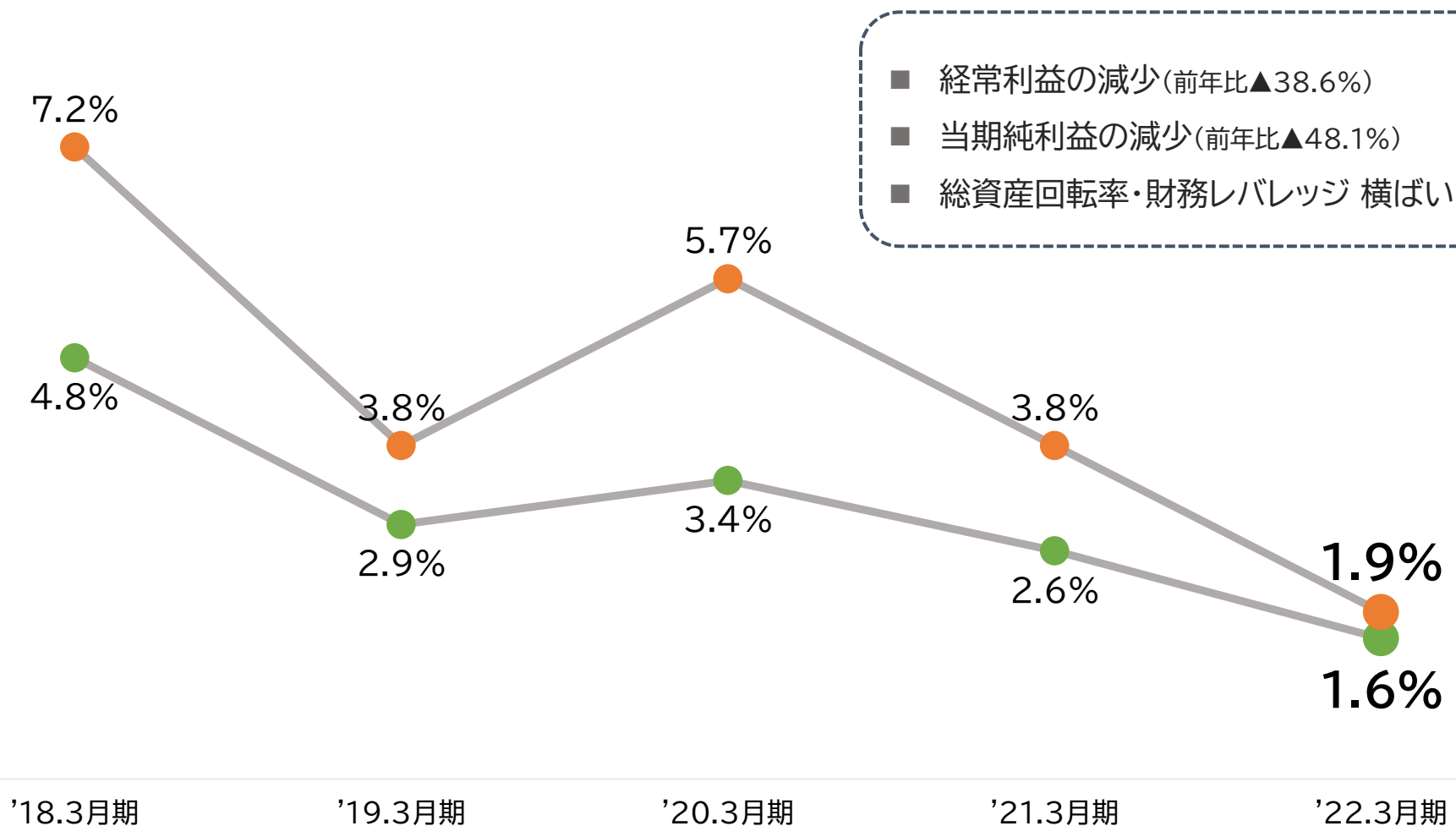
EBITDA

(億円)



※EBITDA：税金等調整前当期純利益－受取利息＋支払利息＋減価償却費＋減損損失

ROA/ROE 推移



CO₂排出量 ・ リサイクル率 ・ 産業廃棄物排出量

項目	中期目標 (2023年度目標)	2021年度 実績	長期目標 (2030年度)
CO ₂ 排出量(スコープ1.2 ※1) (2020年度比)	—	+9%	30%削減
リサイクル率 ※2	85%以上	73%	90%以上
産業廃棄物排出量 ※3 (2019年度比)	40%以上削減	+0%	60%以上削減

※1 スコープ1：東リグループの燃料使用にともなう直接排出

スコープ2：東リグループが他社から購入した電気の使用にともなう間接排出

※2 東リグループ国内主要生産拠点・東リ物流㈱および本社の排出物に占める、グループ内リサイクル+有価リサイクルの割合

※3 東リグループ国内主要生産拠点・東リ物流㈱および本社の排出物のうち、グループ内リサイクル+有価リサイクル以外の排出物

Point

- 生産工程の見直しや照明LED化促進等により、使用エネルギーを削減。
- 売上高回復に伴い生産量が増加し、CO₂排出量は増加。
- 今後、滋賀東リ(株)のタイルカーペットリサイクルプラントが本格稼働し、リサイクル率の向上による産業廃棄物排出量の削減に寄与。



2023年3月期 業績見通し



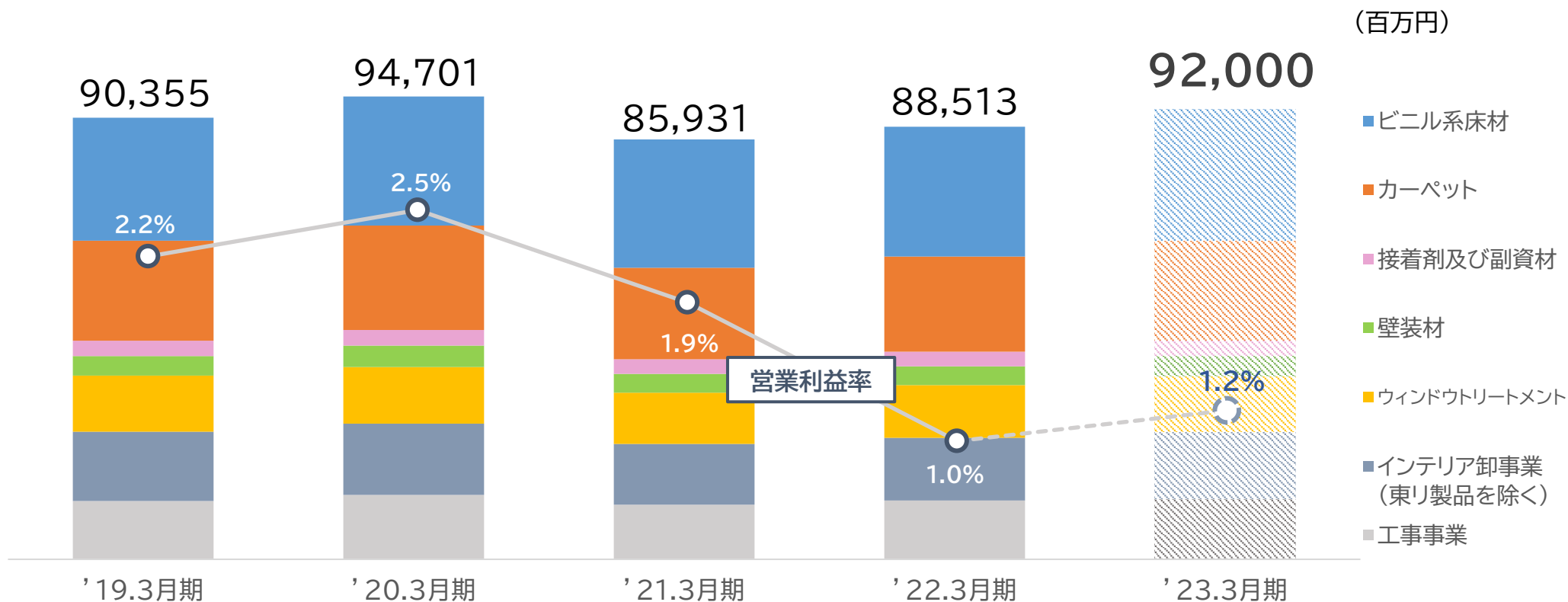
2023年3月期 連結業績見通し

(百万円)

	2022年 3月期	2023年3月期					
	通期	上期	前期比 (%)	下期	前期比 (%)	通期	前期比 (%)
売上高	88,513	42,000	4.4	50,000	3.5	92,000	3.9
営業利益	878	▲800	—	1,900	66.5	1,100	25.3
経常利益	1,244	▲600	—	2,050	60.3	1,450	16.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	720	▲450	—	1,400	93.6	950	31.9

- 当期に入っても原材料価格の高騰が続く。
- 後追いでの転嫁となり、価格改定効果は下期が中心となる。

製品分野別 連結売上高／営業利益率 見通し

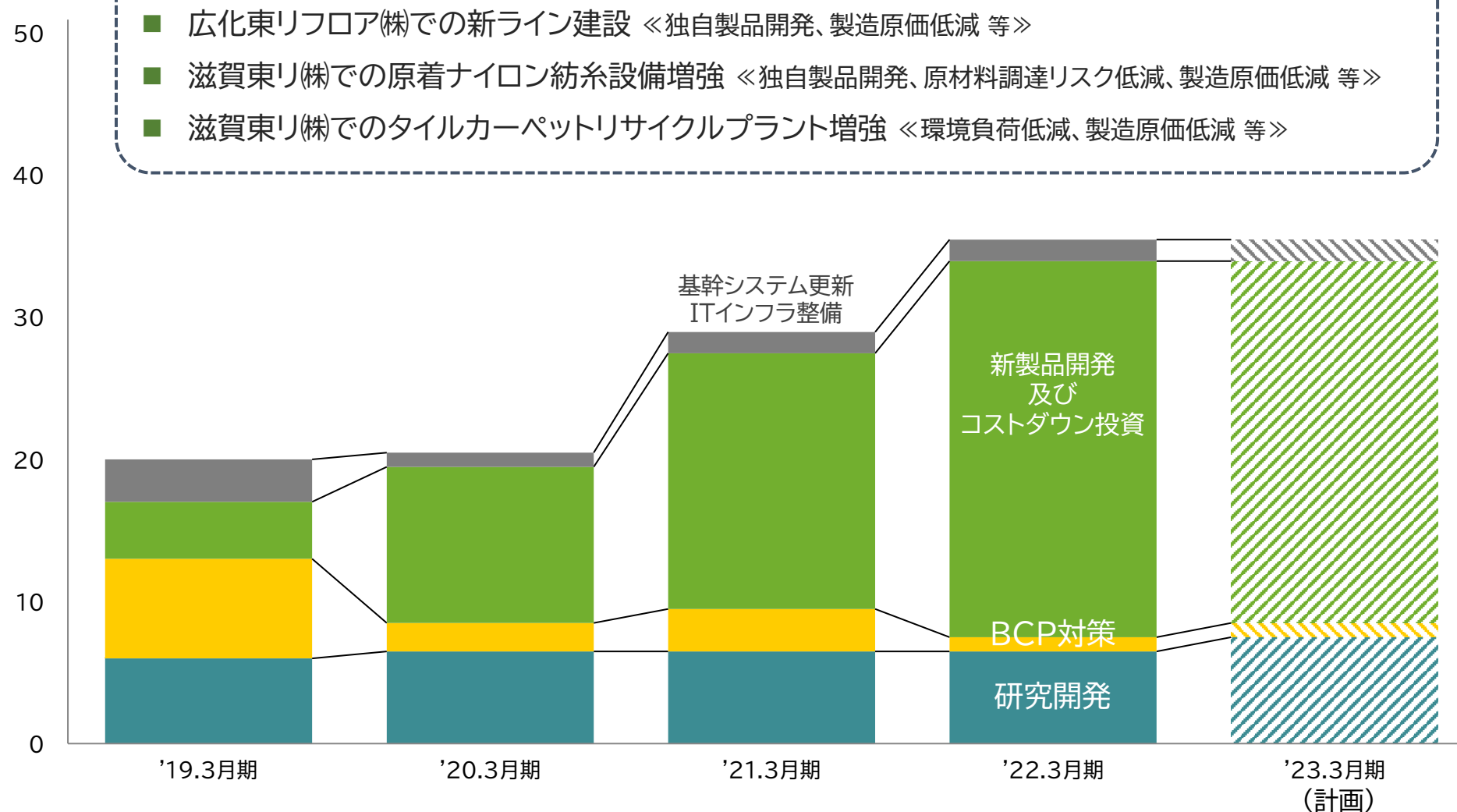


Point

- 回復が鮮明な店舗市場に向けて、リブランディングを実施する「コンポジションタイルシリーズ」、新発売した「タフテックタイル」や改廃予定の「ロイヤルストーン・ウッド」の訴求に注力。
- 堅調なオフィスリニューアル市場に向けて、リニューアルした「GA3600-サスティブバック」をはじめとした環境配慮型商品の販売に注力。
- 抗ウイルス性能をはじめとした機能性商品等、高付加価値商品の販売に注力。

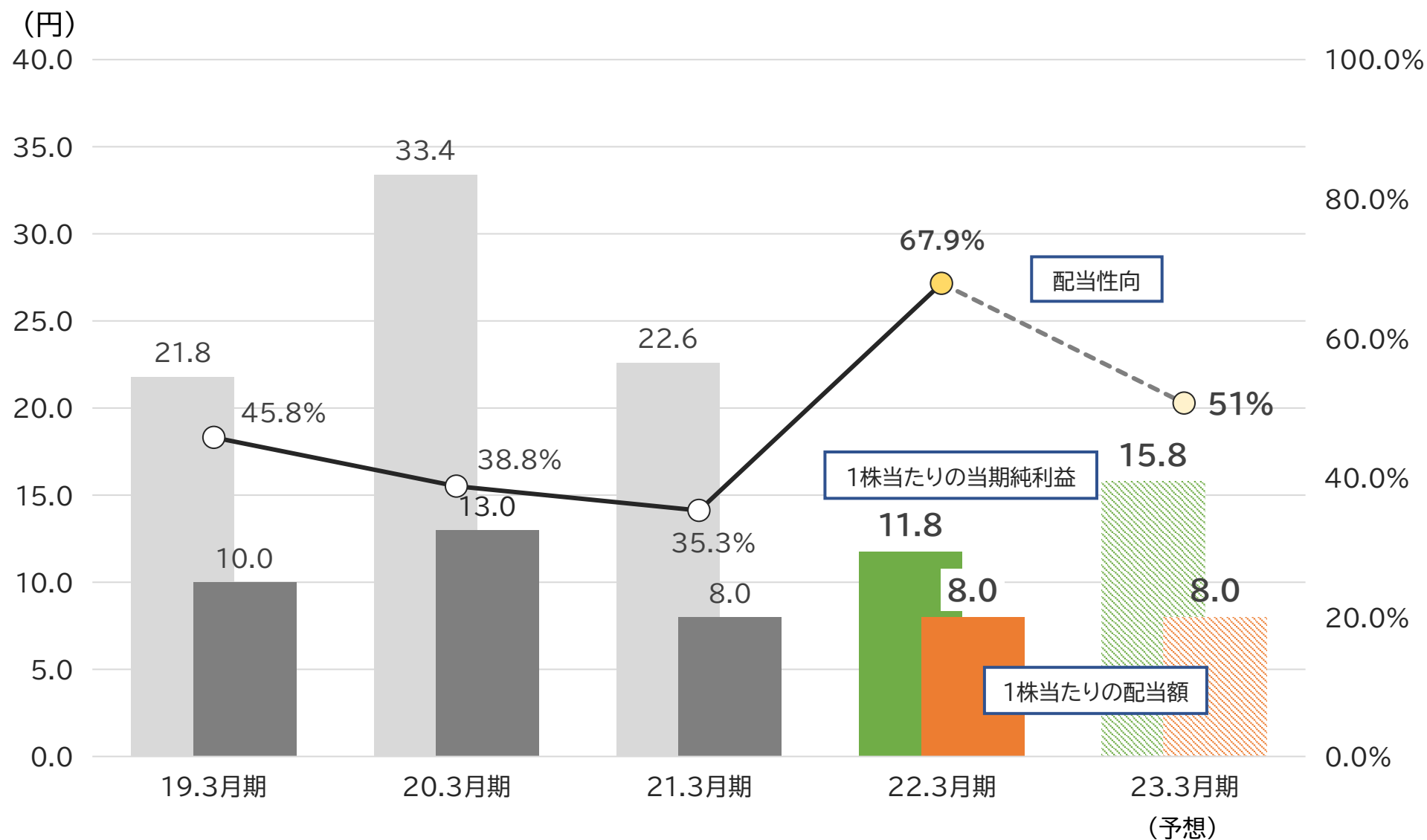
Point

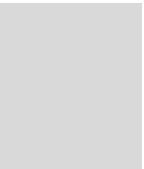
(億円)



※経常的な設備投資は含んでおりません。

配当の状況(連結ベース)





中期経営計画「SHINKA Plus ONE」進捗

中期経営計画「SHINKA Plus ONE」概要

A～E :5つの重点戦略
1)～11):11の取り組みテーマ

長期ビジョンの達成 TOLI VISION 2030

D グループ 横断機能の強化

8)社会的課題の
解決と事業活動の
一体化

9)デジタルコミュニ
ケーションの推進強化

A コア事業の 強靱化

1)“モノづくり力”
の強化

2)“企画・提案力”
の強化

3)“販売力”
の強化

B 伸びしろ事業の 成長拡大

4)グローバル事業の
質的量的拡大

5)BtoB(特販)
事業の開拓

6)BtoC事業
の開拓

C 第5事業の 創造

7)シーズ・協業
からの創造

10)人と組織の活性化

11)企業価値を高める

E 成長を支える経営基盤の構築

推進力の強化

<「SHINKA Plus ONE」経営指標>

項目	連結経営指標
売上高	950億円以上
海外	28億円以上
営業利益	30億円以上
ROE	5.0%以上
リサイクル率※1	85%以上
産業廃棄物排出量※2 (2019年度比)	40%以上削減

< 長期経営指標>

2024～2029年度 期間内達成目標

項目	連結経営指標
売上高	1,000億円以上
海外	55億円以上
営業利益	60億円以上
ROE	10.0%以上
CO ₂ 排出量 (スコープ1・2 ※3) (2020年度比)	30%以上
リサイクル率※1	90%以上
産業廃棄物排出量※2 (2019年度比)	60%以上削減

※1 東リグループ国内主要生産拠点・東リ物流網および本社の排出物に占める、グループ内リサイクル+有価リサイクルの割合

※2 東リグループ国内主要生産拠点・東リ物流網および本社の排出物のうち、グループ内リサイクル+有価リサイクル以外の排出物

※3 スコープ1：東リグループの燃料使用にともなう直接排出 スコープ2：東リグループが他社から購入した電気の使用にともなう間接排出

新設建築着工量の伸び悩み

- 技術開発力の強化
 - ・国内新設建築市場が伸び悩む中、改修市場の取り組みや当社グループの**競争優位性を高める**ことが既存事業強化の重要な鍵。
 - ・**要素技術研究**や更なる**製造原価低減に向けた設備投資**など、技術開発力強化への取り組みを継続。
- 事業領域の拡大
 - ・既存事業の更なる強化とともに、事業領域拡大への挑戦を続けることが持続的成長に向けて不可欠。
 - ・ユーザー視点での**ニーズの深掘り**や、**産学連携**による研究開発を推進し、次代を支える新たな事業領域への挑戦を継続。
- グローバル化の進展
 - ・**グローバル事業の質的量的拡大**が、当社グループの成長において重要なキープポイント。

労働人口の減少

- 人材の確保
- 物流体制の再構築
- 代理店向け技能士育成支援制度の継続推進

原材料調達環境の変化

- サプライチェーンの最適化
 - ・原油・ナフサの価格変動や、様々な地政学リスクに伴う原材料調達環境の変化については、当社グループによる**川上技術の取り込み**や**リサイクル原材料の活用**など、多面的な視点で製品の安定供給と製造原価低減に向けて取り組みを強化。

自然災害・パンデミックの発生

- BCP(事業継続計画)

気候変動リスクの高まり

- 地球環境保全への取り組み

デジタル社会の進展

- デジタル技術の活用

社会課題に対する意識の高まり

- CSRへの取り組み
- コーポレートガバナンスの強化

実行戦略

中国合併事業でのビニル床タイル製造・販売及び新製品開発

A コア事業の強靱化

B 伸びしろ事業の成長拡大

新たな価値をもたらす新・第3の床材「タフテックタイル」発売

LHT ToughtecTile



- 国内外の高い技術力を集約した東リ新ブランド「LHT」。
(LHT : LUXURY HARD TILE)
- ビニル床タイルと、セラミックタイルの長所を兼ね備えた新たな価値(「強い」「軽い」「美しい」)を持つ床材。
- 既存ビニル床タイル領域のみならず、新たな市場に対する用途開発にも取り組む。

(中国)江蘇長隆裝飾材料科技有限公司



合併事業から生まれた付加価値の高い製品による、グローバル事業の新たな展開。

実行戦略：環境負荷低減技術の確立

A コア事業の強靱化

D グループ横断機能の強化

環境配慮型タイルカーペット「GA3600-サスティブバック」の発売



【GA3600-サスティブバック】



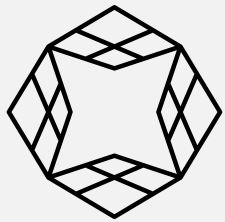
- リサイクルプラントが稼働し、GA3600に自社工場製造のリサイクルチップ使用の「サスティブバック」を採用し、環境配慮型商品にリニューアル。
- リサイクルプラントでは、生産工程で発生するタイルカーペットの廃材と市場から回収した使用済タイルカーペットを再資源化し、リサイクル率の向上と、産業廃棄物排出量削減に寄与。
- 更なる環境負荷低減を目指し、タイルカーペットリサイクルプラントの増強に着手。

実行戦略： デジタル化推進によるプロモーション強化

A コア事業の強靱化

D グループ横断機能の強化

AI技術による新たなコミュニケーションの創造 ～ 空間シミュレーションツール「Image Fit」～

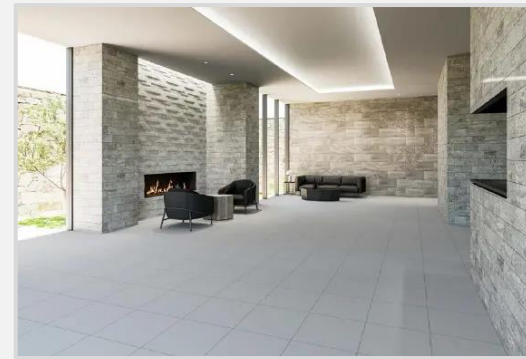


TOLI Ai Simulator

Image Fit

① どんな空間でも ② 自然で高品質 ③ 早くて簡単

- いままでイメージしづらかった施工後の空間も、「Image Fit」により簡単に素早く作成が可能。
- 商談中に空間イメージの提案をすることが可能となり、提案力・販売力の強化に寄与。
- デジタル技術(AI)を用いて空間をデザインするという価値を生み、内装材選定に新たなプロセスを創造。



床面をタイル
カーペットにしたい！



実行戦略： 川上技術内製化への取り組み

A コア事業の強靱化

カーペット用ナイロン紡糸設備が本格稼働。独自品開発への展開



原着ナイロン紡糸工場

- タイルカーペット用ナイロン紡糸設備が本格的に稼働し、一部製品の原糸を外部調達から切り替え。製品の安定供給や製造原価低減が進展。



- 更なる製品の安定供給と製造原価低減を目指し、カーペット用ナイロン紡糸設備の増強に着手する。
- 内製化材料と外部調達材料のバランスを最適化し、弾力性のあるサプライチェーンの再整備を目指す。
- 独自の紡糸技術による研究を進め、次世代新製品の開発に繋げる。

本日はありがとうございました



IRに関する
お問い合わせ先

東リ株式会社
経営企画部

e-mail

ir@toli.co.jp

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、当社の目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界動向や外部環境認識等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性や完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。



Appendix



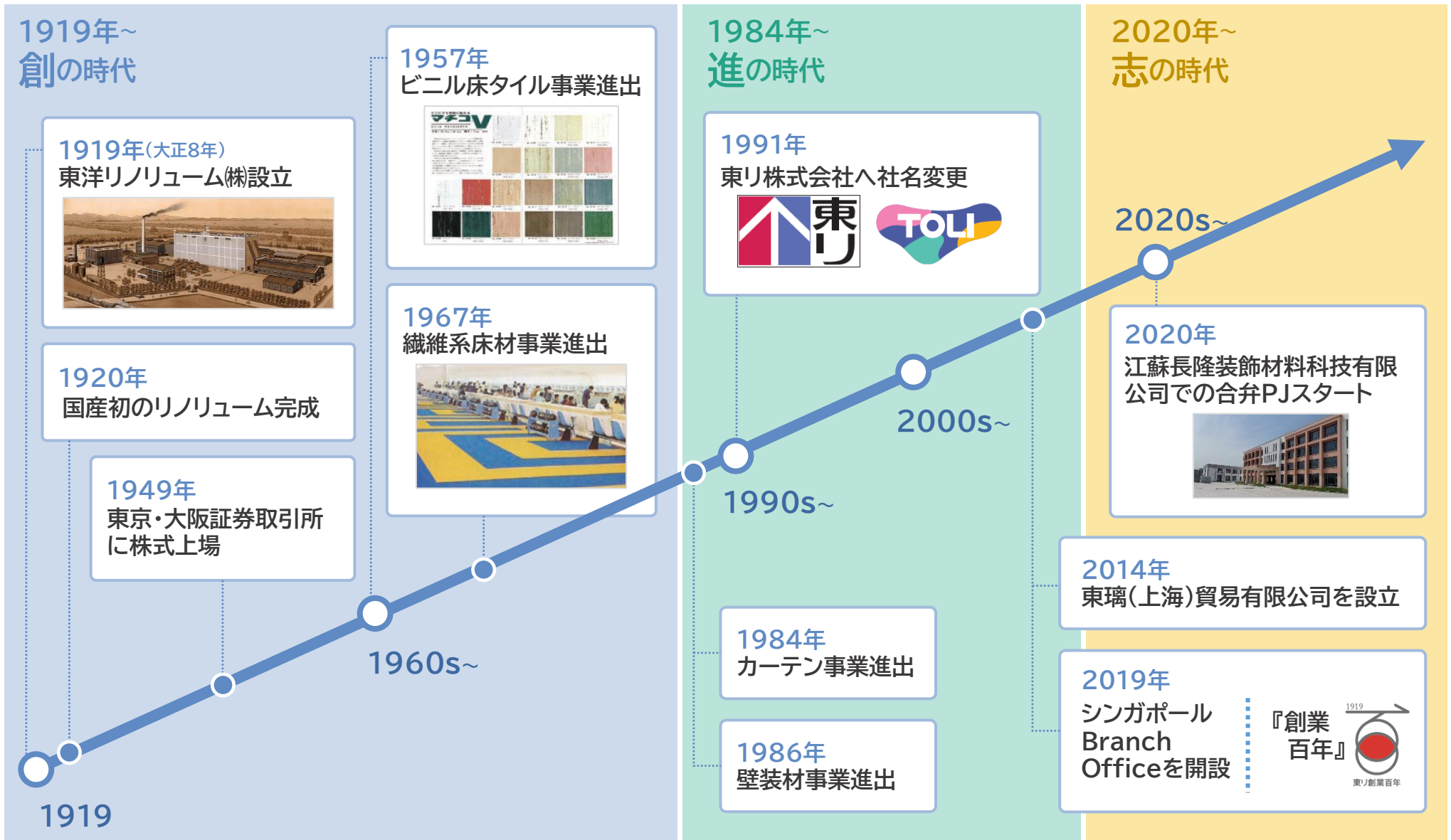
会社名

東リ株式会社

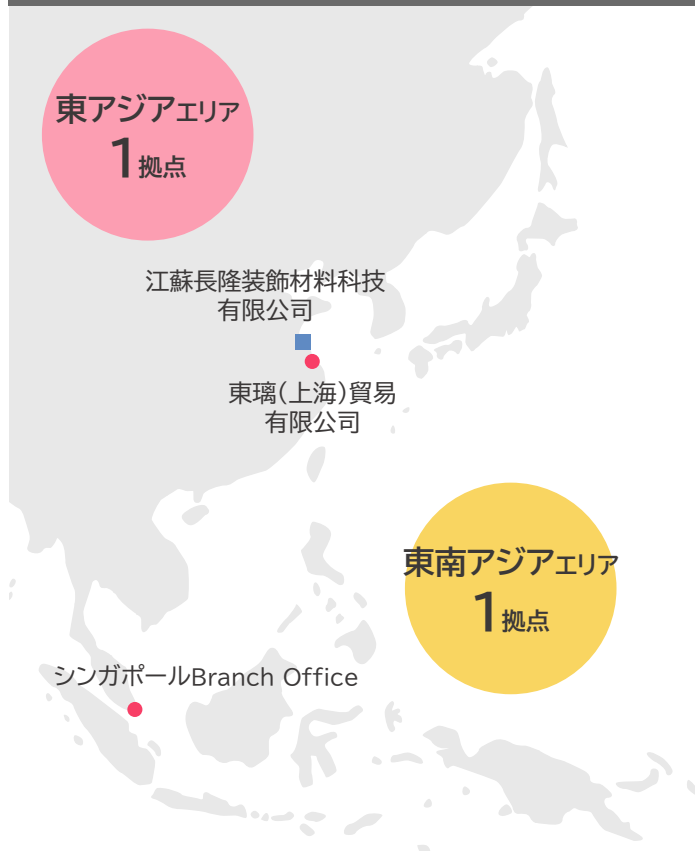


業態	インテリア商品の製造及び販売
創業	1919年(大正8年)12月1日
本社所在地	兵庫県伊丹市東有岡5丁目125番地
売上高	連結 885億13百万円(2022/3月期)
経常利益	連結 12億44百万円(2022/3月期)

親会社株主に帰属する 当期純利益	連結 7億20百万円(2022/3月期)
資本金	連結 68億55百万円(2022/3月期)
従業員数	連結 1,869名 個別 883名
証券コード	7971 東証プライム



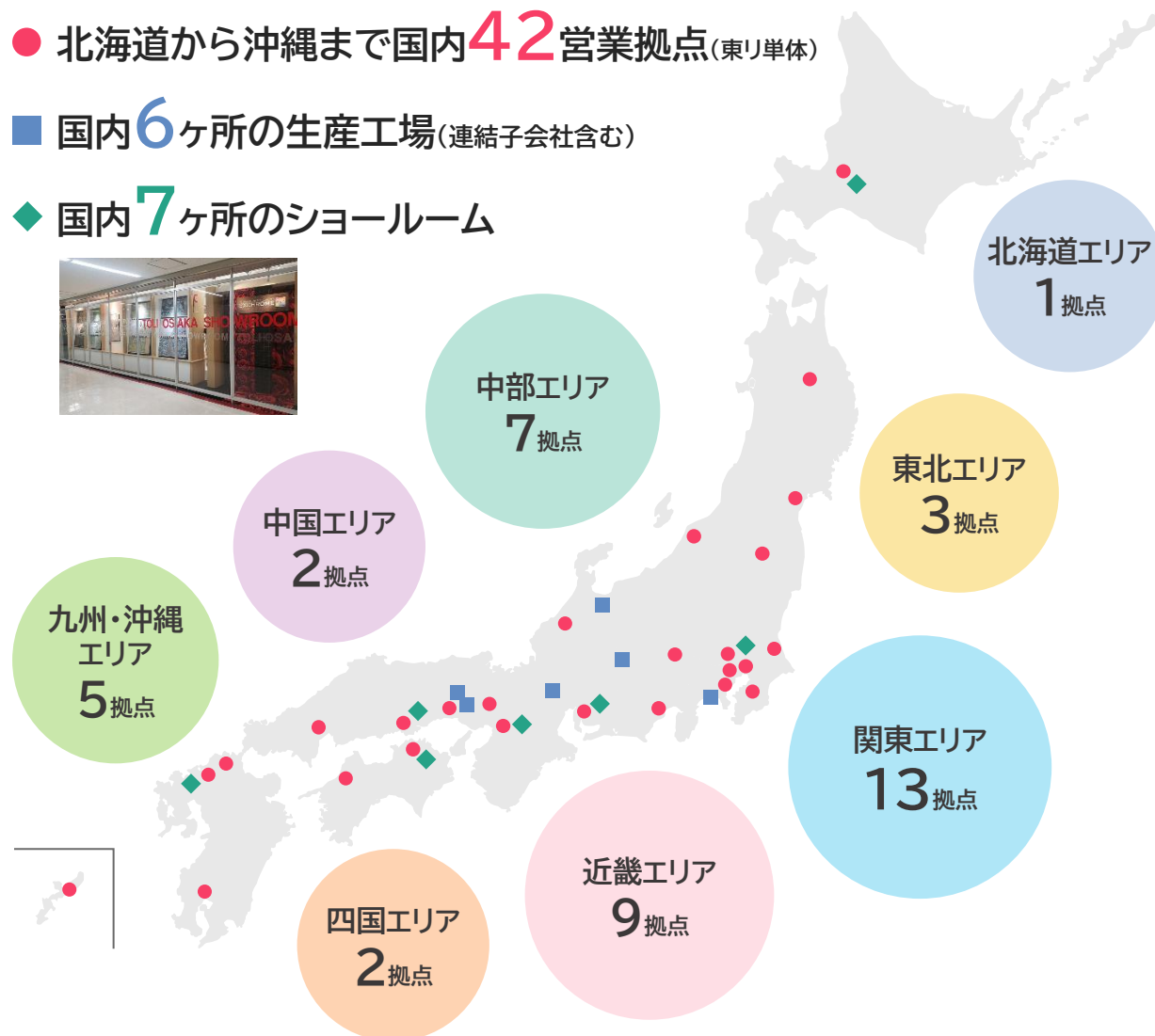
海外拠点



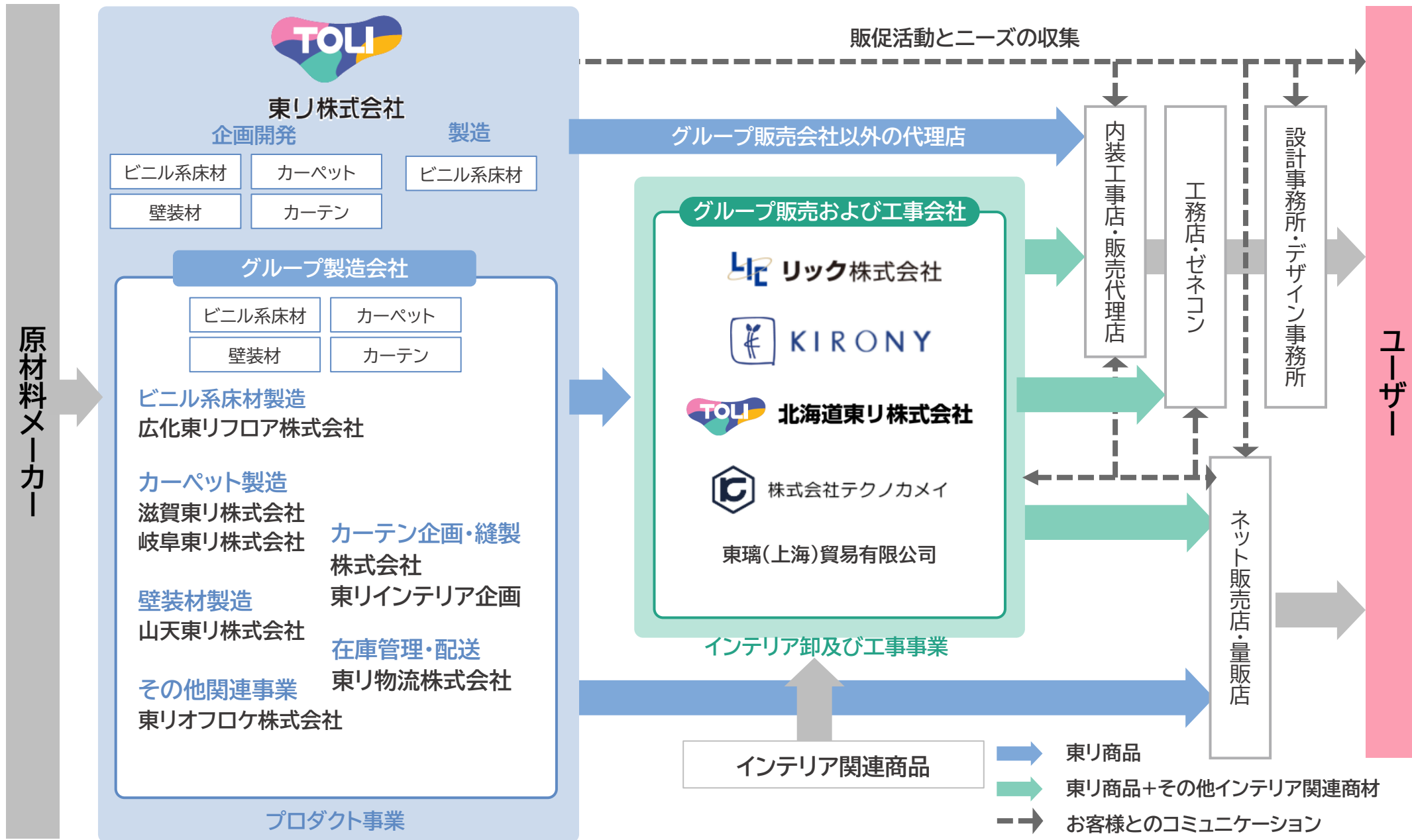
- 海外2ヶ所の営業拠点(連結子会社含む)
 - 中国に1ヶ所の生産拠点(持分法適用会社)
- 世界20の国や地域の販売代理店

国内拠点

- 北海道から沖縄まで国内42営業拠点(東リ単体)
- 国内6ヶ所の生産工場(連結子会社含む)
- ◆ 国内7ヶ所のショールーム



東リグループの事業体系



東リグループは、百年の歴史で培ってきた技術力を活かし、商品の企画・デザインから製造・販売・物流・施工・メンテナンスに至るまでを一貫して手掛けることで、ニーズを吸い上げ、製造技術に活かしていくことが出来ます。



企画・デザイン 研究・開発

モノづくりを支える
アイデア・技術の創出

- 商品企画力
- 研究・開発力
- デザイン力
- 品質管理体制

製造

安心・安全、高付加
価値商品の生産

- 国内6拠点、
海外1拠点の工場
- 自社工場内
リサイクルシステム
- 生産管理から製造
の一貫体制
- 化学物質管理

販売

全国を網羅するチャネル
や様々なプロモーション
を通じた商品提案

- 全国の
グループ販売会社、
契約販売代理店
- 海外20カ国の
販売代理店

物流

お客様へ正確に・
スピーディに商品をお
届けする物流体制

- 全国の配送拠点
- 販売代理店による
物流サポート

施工 メンテナンス

空間創造から
ご使用後のメンテナンス
までサポート

- 東リグループ内
施工体制
- 全国の
施工協力店体制
- 業界で唯一の
タイルカーペット洗浄・
メンテナンスシステム

